



《南海トラフ巨大地震に備えた亜炭鉱跡対策事業とは・・・》

基金総額：約80.0億円
 実施期間：令和3年3月～令和7年3月まで
 事業概要：南海トラフ巨大地震が発生した場合に大きな揺れが予想される旧亜炭採掘区域において、より効果的・効率的な工法及び調査方法を検証しつつ、地盤のぜい弱性に関する調査及び旧亜炭採掘跡に係る防災工事（空洞充填工事）を行う事業

国（補助率 9/10）+ 県（補助率 1/10） → （公財）岐阜県産業経済振興センター → 市町村（御嵩町）
 基金造成資金を補助 事業費助成

目標値：全60ha（全7期事業）について、地盤ぜい弱性調査及び防災工事を実施
 目標達成時期：地盤ぜい弱性調査を令和4年度までに完了
 調査の結果「対策が必要」と判定された区域において、令和6年度までに防災工事を実施

亜炭鉱廃坑の現状



御嵩町調査口内



東海環状自動車道建設現場

《地盤ぜい弱性調査の流れ》

- ① 地層確認ボーリング → 地層の情報を確認します
- ② 空洞確認ボーリング → 地下に空洞があるかを確認します
- ③ 亜炭鉱跡対策検討委員会 → 地盤のぜい弱性を審査し、防災工事が必要であるか判定します。



「充てん材」とは・・・

砂利工場などで発生する微細な砂や粘土に
 固化材と水を練り混ぜて製造します

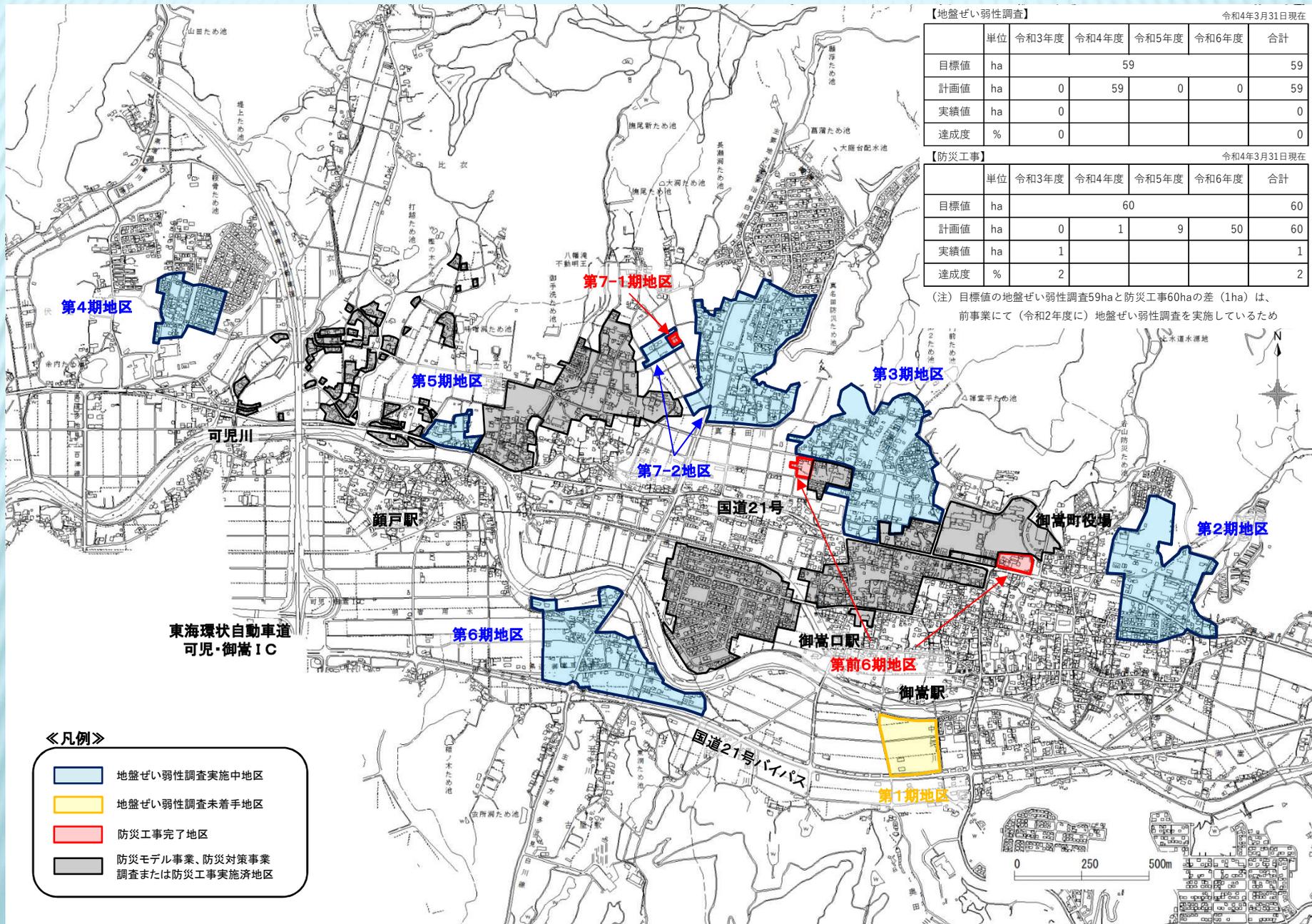
充てん材（硬化後）

《防災工事（空洞充填工事）の流れ》

- ① 充填孔削孔 → 地下の亜炭廃坑空洞まで穴を開けます。
- ② 充填材製造 → プラント施設にて充填材を製造します。
- ③ 配管工 → 充填材をプラントから配管により圧送します。
- ④ 充填工 → 地下の亜炭廃坑空洞まで流し込みます。



南海トラフ巨大地震に備えた亜炭鉱跡対策事業位置図（令和2年度旧鉱物採掘区域防災対策費補助金）



【地盤げい弱性調査】 令和4年3月31日現在

	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
目標値	ha	59				59
計画値	ha	0	59	0	0	59
実績値	ha	0				0
達成度	%	0				0

【防災工事】 令和4年3月31日現在

	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
目標値	ha	60				60
計画値	ha	0	1	9	50	60
実績値	ha	1				1
達成度	%	2				2

（注）目標値の地盤げい弱性調査59haと防災工事60haの差（1ha）は、前事業にて（令和2年度に）地盤げい弱性調査を実施しているため

- ＜凡例＞
- 地盤げい弱性調査実施中地区
 - 地盤げい弱性調査未着手地区
 - 防災工事完了地区
 - 防災モデル事業、防災対策事業調査または防災工事実施済地区